

家族と私とお米

いすみ市立東小学校 四年 吉野 夢

わたしにとってお米はすごく大切な物だ
と思います。わたしと家族は、毎日お米を
食べます。おじいちゃんとおばあちゃんも、
きくと多くの人達も食べてると思います。

毎日毎日あたりまえのように食べている
お米ですが、作るのは大変なんです。

お父さんとおじいちゃんはお米を作っ
て、私と家族はみんなで手伝っています。

まず、四月のおわりごろに田植えを
します。

それから、なえはこびをします。田植え
は、きかいで出来るけれど、なえをきかい
の所で運ばないといけないので、家族
みんなできう力して運びます。田植え
が終わったら、水がなくならないよう
に田んぼにあなを開けて水をぬいたり、
川からポンプというきかいで水を
とったりしてコンドロールをしています。
なえいかいの草を取って、草が生え
ないようにします。いのししは、水を
きらうので、水

を入れていのししに食べられないようにしま
す。毎朝、草かりと水のりょうをちゅうせつ
して、いねかりの時までつづけているそう
す。お米ができる、いねかりを始めます。
八月の終わりにやるので、とても暑いので大
変です。

いねかりは、コンバインでお父さんがやる
けれど、コンバインが入らないので、手で
かります。いのししよけの電気の線でガード
をするそうです。大きな田んぼを一周かこい

ます。

いねかりが終ったら、コンバインをそうい
します。ホースなどでどうをとらないと、も
みがうなどがつまってしま。てこあれてしま
うそうです。もみがらがついて体中ががゆく
なってしまうので、コンバインのそうじは大
変です。

また九月ごろになると、来年の田植に向け
て、じゅんびを始めます。育てて、食べられ
るようにな。たお米は、一定の温度でれいそ

うこでずっ とほぞんしておきます。

こうして、苦うしたお米は、色々な所に
売っています。

農協がしうかして、私達がいつも行っ
てるスーパーにも、あたりまえのように売っ
ています。

そうしてあたりまえのように食べているお
米は、苦うして、作られたからこそおいし
いと思う事を、わすれずにいれば、ニユー
でやっ ている。日本人のお米はなれも少し

ずつなくなっ ていっ てくれれば、一生けんめ
いお米を作るからこそ、うれしく思います。